

文化財保存修復工房・美術館広坂別館



文化財保存修復工房の機能拡充のため、美術館広坂別館を増築移転させ、あわせて既存の（大正11年竣工）の歴史的な意匠を残しつつ耐震改修を行い、将来の登録文化財を目指す。全国で初めて実際の修復作業を常時見学できる公開エリアを設置するなど、文化財保護に係る積極的な情報発信を行う。



表具修復室



漆工芸品修復室



既存棟 意匠保存



増築棟の計画 恵まれた周境に馴染む、「緑のなかの工房」をコンセプトに深い軒を持つ重厚な意匠を目指した。職人の手仕事が残る漆喰や自然石等自然素材を選定し、文化財を扱う施設にふさわしい施設とした。

既存棟の意匠保持 外内部共、保存可能な意匠はそのままに、耐震改修と損傷部分の修繕を行った。材料は「再用」を基本とし、腐食材は腐食箇所のみ修繕する等、意匠のみならず材料に至るまで保存活用した。

 : 多目的トイレ(各階1箇所、音声誘導、オストメイト対応、介助用ベット) 既存棟正面玄関はスロープで嵩上げしバリアフリー化を図った。

 : 県産材の採用
内装材は杉材、土台やサインは能登ヒバ等構造材から仕上材まで県産材の採用に努めた。

■ : 耐震改修の考え
基礎、躯体、屋根の補強は外観から目視できないよう内側から行い、外観保存を行った。煙突は屋根上部を撤去、木軸組にて復旧し、建物荷重の軽減、炭素繊維による補強等を実施。

| DATA |
|------------------|
| ④文化体育施設 |
| 金沢市広坂地内 |
| 平成27年3月～平成27年11月 |
| (増築棟) |
| 鉄筋コンクリート造:地上1F |
| 延床面積594.10㎡ |
| (既存棟) |
| 木造:地上1F |
| 延床面積234.31㎡ |